YAHOO!検索で10位以内に入る方法

インターネットを利用したマーケティングをする場合、SEO対策をすることは必須です。 というのは、どれだけ立派な学校ホームページを作ったとしても、読者に閲覧してもらわなければ、意味がないからです。

読者が、インターネットでサイトを探す場合、検索エンジンを利用して探す方法が主流です。 それも、ほとんどが【YAHOO!検索】を利用しています。

ですから、検索エンジン対策では、YAHOO!の対策をすることで充分です。 他の検索サイトに対しても対策するとしても、Google だけで良いとおもいます。

また、読者が、これら検索サイトを使うときの特徴としては、キーワードを2つ入力するケースが最も多いことです。

例:「大阪、専門学校」または、「ビジネス、専門学校」というように、2つのキーワードを入力

キーワードの入力数で次に多いのが1つ、その次が3つのキーワード入力です。

さらにキーワード検索をする読者の特徴としては、最初のページだけを見てサイトを閲覧する ケースが最も多いことです。

ですから、YAHOO!の検索エンジン対策としては、1ページ以内、すなわち10位以内に入ることが重要になります。

次に大事なことは、いくら学校ホームページへのアクセスが増えたとしても、貴校のターゲットを呼び込めなくては、意味がありません。

ターゲットが、学校を選択するときに用いるキーワードを良く考えることも重要なのです。

それでは、わたしが YAHOO!にホームページを登録して4日目に検索エンジンの1ページにアップした証拠画像をご覧ください。



キーワード(学校、コンサルタント)検索で1位と10位になりました。 この時、写真右上にあるように、7.450.00件中で1位なのです。



次の写真もご覧ください。

2位、3位、4位、6位に入っています。

キーワード(専門学校、学生募集、コンサルタント)検索では、4つ入っています。



キーワード(専門学校、コンサルタント)検索でも3つ入っています。



キーワード(情熱、専門学校、コンサルタント)検索では、1位、2位、3位を独占しています。



お解かりだとおもいますが、私のサイトの場合、ターゲットは専門学校の経営者になります。 そうすると、募集定員の集まりが悪く、募集方法についてコンサルタントに相談をしようか迷っ ている経営者がターゲットになります。

ですから、キーワードは、「専門学校、コンサルタント、学生募集...」になります。

これ以外のキーワードでアクセスを集めても、ターゲット外なのです。

ここが重要です。

貴校のキーワードを考える場合も、高校生など受験生があなたの学校を探す場合のキーワードにしてください。

それでは、実際に「大阪、専門学校」のキーワードで検索したときの写真がこれです。



次の写真が、大阪健康福祉専門学校のソース表示です。

```
(html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" xml:lang="ja" lang="ja"> (head> (meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=utf-8" /> (title)大阪健康福祉専門学校〈title〉 (meta name="keywords" content="大阪,健康,福祉,専門学校,介護,介護福祉士,精神保健福祉士,保育,保育士 (meta name="keywords" content="大阪,健康,福祉,専門学校は、社会福祉の精神に基づき、幅広い教養や的で、meta name="copyright" content="Copyright 2003-2007 (c) 大阪健康福祉専門学校 All rights reserved. (meta http-equiv="content-style-type" content="text/css" /> (meta http-equiv="content-style-type" content="text/javascript" /> (link rel="stylesheet" href="common/css/import.css" type="text/css" media="all" /> (link rel="stylesheet" href="common/css/top.css" type="text/css" media="all" />
```

実は、SEO 対策では、上の写真のようにサイトの文頭箇所に HTML を入れる必要があります。 これが、入っていないと検索エンジンには引っかかりません。

HTML 入力については、次を参考にしてください。

```
『title > ここには、 専門学校 と学校名をいれます。 </title』
『meta name= keywords content= ここには、大阪, 専門学校, ,...などキーワードを入れます。』
『meta name= description content= ここには、貴校サイトのコンテンツの説明を入れます。』
```

『title > </title』、『meta name= keywords content= 』、『meta name= description content= 』 これらの HTML の入れる場所がわからない場合は、他のホームページをソース表示して場所を確認すると解かりやすいと思います。

ソース表示の仕方

ホームページを開くマウスを右クリックソースを表示で開きます。

以上が、SEO対策で最低限やらないといけないことです。

これ以上のことをやろうとすると、プロに依頼しないと大変です。

というのは、検索エンジン側でも次から次へと SEO 対策にたいして対策を施して〈るので、素人では追いつけないからです。

検索エンジン側の基本的な考え方は、ホームページを検索する読者の代わりとなって、読者が探したい良いホームページを探すことにあります。

読者がキーワード検索をしたことに対し、検索エンジンは、先程のタイトル、キーワード、コンテンツ、サイト文章の中に書かれた単語から検索するという仕組みになっています。 この基本的な仕組みは変わる事はないと思われます。

ということは、

HTML 内のタイトル、キーワード、コンテンツにも検索キーワードが含まれていること。ホームページに、ある程度以上の文章量がある。(コンテンツも多いほど良い)サイトの文章のなかに検索キーワードが盛り込まれている。(文章全体の5%〈らいのキーワードを含むと効果があると言われています。)

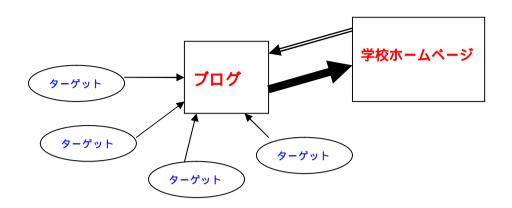
ホームページ制作では、以上を満足させるよう注意することが必要です。

次に、ブログの重要性ですが、ブログの特徴としては、検索エンジンに引っかかりやすいことがあります。実際にブログを付けだすと、2~6日で検索エンジンに自然登録されます。

また、ブログは、読者にとっても常にサイトが更新されているので人気があります。

ですから、インターネットをマーケティングに利用するには、ブログは必需品となるでしょう。

では、具体的な方法としては



上図のように、ブログにターゲットを呼び込み、その後、ターゲットを学校ホームページへ誘導する方法です。

具体的には、貴校の**ブログとホームページを相互リンク**するという方法です。 そうすることで、貴校のターゲットが貴校のブログとホームページを何度も行き来することになり、より、貴校に関心を寄せるようにすることができます。

それでは、プログに書く内容ですが、

先ず、付録の「ダントツ化構築シート」をつかって、**募集コンセプトを決定**します。 次に、コンセプトからキーワードを決めます。

キーワードを入れることを念頭に入れ、タイトルを考えます。(タイトルに検索キーワードを含める) 同じように、キーワードを入れることを考えながら文章を作成していきます。(キーワードの量は文章全体の5%を目安にする。それ以上多いと、逆効果になる。)

以上の要領で、ブログの更新を1週間も続ければ、確実にアクセスアップしていきます。 ただし、長い期間、更新を休んでしまうと、元のアクセスの無い状態に戻ってしまいますので、 続ける事が大事です。

これだけの事を実行するだけで、先程の私のケースのように検索上位になると思われます。 但し、ネットは常に変化していますので、現時点で効果のある方法ということを頭に入れておいてください。

常に、検証して改善することが、成功のポイントになります。

- · スクールマーケティングについてもっと詳しくしりたい。
- ・ 学校改革に関心がある。

このような方は、こちらをクリックしてご覧ください。 http://school.okoshi-yasu.com/

- · コンサルティングを導入した場合の費用について詳しく知りたい。
- ・ 学校を発展させるために、コンサルティングの導入を考えられている。

このような方は、こちらをクリックしてご覧ください。

http://win.nagesen.net/

http://win.nagesen.net/newpage1.html

学生募集についてもっと学びたい。

このような方は、こちらをクリックしてご覧ください。

http://school-hanei.jugem.jp/